

2019(令和元)年度
多摩大学経営情報学部
卒業生満足度調査 結果報告書

多摩大学経営情報学部学生委員会・学生課
2020年(令和元年)3月31日

20190424

目 次

I. 調査の概要	3	IV. 多摩大学の評価(イメージ)	17
1 趣旨		IV-(1) 社会的評価	
2 アンケート調査の実施概要		IV-(2) 教育的水準	
3 調査内容		IV-(3) 社会的貢献度	
4 回収結果		IV-(4) 国際交流	
4 報告書の見方		IV-(5) 環境への取り組み	
		IV-(6) 卒業生の活躍	
		IV-(7) 面倒見のよさ	
II. 調査結果	5	V. あなた自身のことについて	20
I. 大学に対する満足度	6	V-(1) 多摩大学を勧めたいと思うか	
I-(1) 多摩大学全体に対する満足度		V-(2) あなたの「志」は達成できましたか？	
I-(2) ゼミナール			
I-(3) 語学教育			
I-(4) 情報教育			
I-(5) 教授陣			
I-(6) カリキュラム			
I-(7) キャリア教育			
I-(8) 事務局			
II. 身につけることができた能力	9	III. 調査マークシート	21
II-(1) グローバル人材			
II-(2) 専門的知識とその応用力			
II-(3) 幅広い教養			
II-(4) 外国語能力			
II-(5) 課題発見力			
II-(6) 問題解決力			
II-(7) コミュニケーション能力			
II-(8) 自己判断能力			
II-(9) チームワーク力			
II-(10) 社会に出ていく自信・能力			
III. キャリア支援について	13		
III-(1) 1年次の就職に関する授業や活動について			
III-(2) 2年次の就職に関する授業や活動について			
III-(3) 就活を始めるのに一番ハードルになったこと			
III-(4) 就活の本格的な開始時期			
III-(5) 就活を開始するのに一番背中を押してくれた人			
III-(6) 就活準備で役に立ったこと			
III-(7) 最初の本格的就活の内容			
III-(8) 内定(内々定含む)は何社からもらいましたか。			
III-(9) 就職先を最終的に決めた時期はいつですか。			
III-(10) 就職先を最終的に決めた理由は何ですか。			
III-(11) 就活に対する全体的な満足感・納得感			
III-(12) 就職先に対する全体的な満足感・納得感			

I .調査の概要

1 趣旨

魅力ある大学づくりのため、本学のどのような点に満足を感じ(あるいは不満を感じ)卒業していくのかを調査する。

定点調査により、現在の問題点を把握しその改善・解決に向けて各種委員会などで活用されるべき基礎資料を得る。

現状を踏まえて、継続的かつ時系列的な学生生活調査への展望を明らかにする。

2 アンケート調査の実施概要

- (1)実施主体 学生委員会・学生課
- (2)実施対象 経営情報学部 2019 年度卒業生 320 名
- (3)実施期間 2018 年 2 月 28 日(金) ～ 3 月 24 日(火)
- (4)実施方法 T-Next・記名式

3 調査内容

- (1)大学入学に対する満足度
- (2)身につけることができた能力
- (3)キャリア支援について
- (4)多摩大学の評価(イメージ)
- (5)あなた自身のことについて

4 回収結果

(1)回収数

	構成比	基数
全体	100.0%	99
男性	89.9%	89
女性	10.1%	10
4年	97.0%	96
3年	3.0%	3
2年	-	0
1年	-	0

(2)回収率

	回収率
全体	30.9%
男性	31.7%
女性	25.6%
4年	31.0%
3年	30.0%
2年	-
1年	-

(3)卒業生数

	構成比	学生数
全体	100.0%	320
男性	87.8%	281
女性	12.2%	39
4年	96.9%	310
3年	3.1%	10
2年	-	0
1年	-	0

※ 2019 年度回答率 86.1% 卒業生:245 名 回答者:211 名

※ 2018 年度回答率 29.1% 卒業生:247 名 回答者:72名

4 報告書の見方

- (1)図中の中の数には回答者の総数です。
- (2)比率は、回答者数を 100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しました。そのため、百分比の合計が 100%にならない場合があります。
- (3)複数回答が可能な質問では、その比率の合計が 100%を上回ることがあります。
- (4)図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮:省略している場合があります。
- (5)自由記述については個人名や不適切だと判断したコメントや同じ内容のコメントは省略してい

る場合があります。

Ⅱ.調査結果



■ アンケート集計結果参照

[戻る](#)

アンケート実施期間: 2020/02/28(金) 09:00~2020/03/22(日) 23:59

対象人数: 320人 回答人数: 99人 回答率 30.9%

2019(令和元)年度卒業生満足度調査

本調査は、魅力ある大学づくりのための情報を収集するために実施します。卒業生対象の調査では、本学のどのような点に満足を感じ(あるいは不満を感じ)卒業して行くかをアンケートにより調査します。

I. 多摩大学に対する満足度

大学生生活を通して今の満足度はどの程度ですか?

(1) 多摩大学全体に対する満足度 (必須)

満足度	比率	人数
・満足	35%	35人
・やや満足	39%	39人
・やや不満	18%	18人
・不満	7%	7人

(2) ゼミナール (必須)

満足度	比率	人数
・満足	63%	62人
・やや満足	32%	32人
・やや不満	2%	2人
・不満	3%	3人

(3) 語学教育 (必須)

満足度	比率	人数
・満足	34%	34人
・やや満足	44%	44人
・やや不満	13%	13人
・不満	8%	8人

(4) 情報教育 (必須)

満足度	比率	人数
・満足	39%	39人
・やや満足	47%	47人
・やや不満	8%	8人
・不満	5%	5人

(5) 教授陣 (必須)

満足度	比率	人数
・満足	39%	39人
・やや満足	45%	45人
・やや不満	10%	10人
・不満	5%	5人

(6) カリキュラム (必須)

満足度	比率	人数
・満足	34%	34人
・やや満足	47%	47人
・やや不満	11%	11人
・不満	7%	7人

(7) キャリア教育 (必須)

満足度	比率	人数
・満足	47%	47人
・やや満足	33%	33人
・やや不満	14%	14人
・不満	5%	5人

(8) 事務局 (必須)

満足度	比率	人数
・満足	41%	41人
・やや満足	38%	38人
・やや不満	15%	15人
・不満	5%	5人

II. 身につけることができた能力

あなたは多摩大学で何を身につけられたと思いますか?各項目の当てはまる番号に [○] をつけてください

(1) グローバル人材 (必須)

満足度	比率	人数
・そう思う	19%	19人
・いくらかそう思う	56%	55人
・あまりそう思わない	16%	16人
・そう思わない	9%	9人

(2) 専門的知識とその応用力 (必須)

満足度	比率	人数
・そう思う	29%	29人
・いくらかそう思う	45%	45人
・あまりそう思わない	18%	18人
・そう思わない	7%	7人

(3) 幅広い教養 (必須)

満足度	比率	人数
・そう思う	31%	31人
・いくらかそう思う	45%	45人
・あまりそう思わない	17%	17人
・そう思わない	6%	6人

(4) 外国語能力 (必須)

比率 人数

・そう思う		21%	21人
・いづらかそう思う		31%	31人
・あまりそう思わない		28%	28人
・そう思わない		19%	19人
(5) 課題発見 (必須)		比率	人数
・そう思う		37%	37人
・いづらかそう思う		47%	47人
・あまりそう思わない		12%	12人
・そう思わない		3%	3人
(6) 解決能力 (必須)		比率	人数
・そう思う		40%	40人
・いづらかそう思う		47%	47人
・あまりそう思わない		9%	9人
・そう思わない		3%	3人
(7) コミュニケーション能力 (必須)		比率	人数
・そう思う		40%	40人
・いづらかそう思う		43%	43人
・あまりそう思わない		10%	10人
・そう思わない		6%	6人
(8) 自己判断能力 (必須)		比率	人数
・そう思う		38%	38人
・いづらかそう思う		49%	49人
・あまりそう思わない		7%	7人
・そう思わない		5%	5人
(9) チームワーク力 (必須)		比率	人数
・そう思う		38%	38人
・いづらかそう思う		43%	43人
・あまりそう思わない		15%	15人
・そう思わない		3%	3人
(10) 社会に出て行く自信・能力 (必須)		比率	人数
・そう思う		35%	35人
・いづらかそう思う		39%	39人
・あまりそう思わない		18%	18人
・そう思わない		7%	7人

III. キャリア支援について

(1) 1年次の就職に関する授業や活動は以下のうちどれですか?		比率	人数
・講義「キャリアデザイン」			86人
・インターンシップ			5人
・企業訪問 (ALプログラム)			5人
・企業			5人
(2) 2年次の就職に関する授業や活動は以下のうちどれですか?(複数可)		比率	人数
・講義「キャリアデザイン」			76人
・インターンシップ			23人
・企業訪問 (ALプログラム)			6人
・企業			6人
(3) 就活を始めるために一番高いハードルになったことは以下のうちどれですか。(必須)		比率	人数
・単位		14%	14人
・お金 (アルバイト)		20%	20人
・スーツ身だしなみ (髪)		6%	6人
・何から始めれば良いか		46%	46人
・その他		13%	13人
<input type="button" value="表示"/>			
(4) 就活の本格的な開始時期はいつでしたか。(必須)		比率	人数
・3年生8月以前		22%	22人
・3年生9月		4%	4人
・3年生10月		13%	13人
・3年生11月		7%	7人
・3年生12月以降		54%	53人
(5) 就活を開始するのに一番背中を押してくれた人は誰でしたか。(必須)		比率	人数
・ゼミの先生		17%	17人
・ゼミ以外の先生		2%	2人
・2キャリア支援課の職員		31%	31人
・親		16%	16人
・友人		18%	18人
・その他		15%	15人
<input type="button" value="表示"/>			
(6) 就活準備で役に立ったことは以下のうちのどれですか(一つ)。(必須)		比率	人数
・キャリアデザイン講義		9%	9人
・ゼミ		33%	33人
・インターンシップ		23%	23人
・学内就職イベント		13%	13人
・学外就職イベント		14%	14人
・外部セミナー		7%	7人
(7) 最初の本格的就活の内容は以下のうちのどれですか。(必須)		比率	人数
・学外イベント		29%	29人
・学内合説 (業界研究など)		20%	20人

・インターンシップ		28%	28人
・個別の企業説明会・懇談会		22%	22人
(8) 内定(内々定含む)は何社からもらいましたか (必須)		比率	人数
・1社もない		9%	9人
・1社		38%	38人
・2社		29%	29人
・3社		12%	12人
・4社		4%	4人
・5社以上		7%	7人
(9) 就職先を最終的に決めた時期はいつですか。(必須)		比率	人数
・3年生3月以前		7%	7人
・4年生4月		14%	14人
・4年生5月		15%	15人
・4年生6月		13%	13人
・4年生7月		11%	11人
・4年生8月以降		39%	39人
(10) 就職先を最終的に決めた理由は何ですか。(必須)		比率	人数
・給料が良い		5%	5人
・労働条件が良い		8%	8人
・勤務地が近い		10%	10人
・安定している		12%	12人
・成長できる		9%	9人
・親や先生に勧められた		0%	0人
・雰囲気よさそう		21%	21人
・働きたい会社だった		6%	6人
・やりたい仕事だった		17%	17人
・その他		11%	11人
表示			
(11) 就活に対する全体的な満足感・納得感 (必須)		比率	人数
・満足		42%	42人
・やや満足		38%	38人
・やや不満		12%	12人
・不満		7%	7人
(12) 就職先に対する全体的な満足感・納得感 (必須)		比率	人数
・満足		51%	50人
・やや満足		34%	34人
・やや不満		10%	10人
・不満		5%	5人

IV. 多摩大学の評価(イメージ)

あなたは、以下の項目の評価を多摩大学は受けていると思いますか?各項目の当てはまる番号に[○]をつけてください

6-1 社会的評価 (必須)		比率	人数
・そう思う		25%	25人
・いづらかそう思う		40%	40人
・あまりそう思わない		22%	22人
・そう思わない		12%	12人
6-2 教育的水準 (必須)		比率	人数
・そう思う		25%	25人
・いづらかそう思う		40%	40人
・あまりそう思わない		23%	23人
・そう思わない		11%	11人
6-3 社会貢献 (必須)		比率	人数
・そう思う		31%	31人
・いづらかそう思う		43%	43人
・あまりそう思わない		16%	16人
・そう思わない		9%	9人
6-4 国際交流 (必須)		比率	人数
・そう思う		31%	31人
・いづらかそう思う		48%	48人
・あまりそう思わない		14%	14人
・そう思わない		6%	6人
6-5 環境への取り組み (必須)		比率	人数
・そう思う		24%	24人
・いづらかそう思う		43%	43人
・あまりそう思わない		22%	22人
・そう思わない		10%	10人
6-6 卒業生の活躍 (必須)		比率	人数
・そう思う		20%	20人
・いづらかそう思う		42%	42人
・あまりそう思わない		25%	25人
・そう思わない		12%	12人

7. 多摩大学を勧めたいと思うか

あなたはもし四年制大学への進学希望者がいる場合、多摩大学を勧めたいと思うか、各項目の当てはまる番号に[○]をつけてください (必須)

・そう思う		27%	27人
・いづらかそう思う		35%	35人
・あまりそう思わない		21%	21人
・そう思わない		16%	16人

8.あなたの志は達成できましたか?

あなたは4年間を通じ志をどの程度達成できたと思うか、各項目の当てはまる番号に [○] をつけてください (必須)

	比率	人数
・100%	15%	15人
・80%程度	44%	44人
・60%程度	25%	25人
・40%以下	15%	15人

9.その他自由記述

要望・改善点提案、大学・後輩へのメッセージなど自由にご記入ください。 [表示](#)

ご協力ありがとうございました。

[集計結果CSV出力](#)

■ 学生

・アボガドの者ですが、テニスコートを使う規制を緩くして欲しいです。
テニスを出れる環境が常にあるのに使えない、使わせてくれないのはキツかったです。
改善をよろしくお願いします。

・お家のような安心感がありました。大好きです

・彩藤ゼミが多摩大1のゼミである!!

・新しいことをガンガン取り入れることを継続してもらって頂きたい

きっかけはどこにあるか分からないので自分の触れたことのないものやった事ないことをたくさん経験して欲しい

・彩藤ひろみ先生は、いいぞ

・教育熱心な人とそうでないひとの差が激しいと思いました。しかし、生徒目線でいろんな工夫をしてくださったので満足しました。

・学バスの本数を増やして欲しい

・やりたいことを見つけるのが難しいと思うので自己分析したり細かな性格、癖など周りに聞くといいと思います。
自分が生活してきて何が1番楽しくてその楽しさを仕事に生かせるところを重点に就活して欲しいです。

・お世話になりました

・長かったような、短かったような、そんな4年間でした。ありがとうございました。

・4年間お世話になりました。

ありがとうございました。

・4年間とても充実した大学生活でした!

4年間があつという間に過ぎていって、本当に時間の流れが早く感じます。

・卒業課題の必修化

卒業できるレベルじゃないのに卒業している

大学生としての質が低い

評価は大学側が(優良・可・不可)

必修化でないと、ゼミを辞める学生が増加

研究の手順、文の構成などが身につく

大学生として最低限の水準

他の大学は2万字以上かつ必修

・多摩祭の改善

ホームゼミを「強制参加」

企画・予算・ゼミの連携を「学生にさせる」

経営面で技能が身につく

プレゼミ生はゼミ選別に繋がる

ゼミの縦の繋がりが深まる

・自主的に成長したい学生にとっては良い大学だと思う。しかし印刷システムが変更されたのが最悪でした。前は簡単に印刷できたのに、わざわざめんどくさいシステムに変更し、それに自分の学費が使われていると考えたら最悪でした。せめて学生になぜ変更するのかを説明したほうが良いと思います。

・職員の融通が効かない

多摩大学で働きたかったのに次の世代から新卒採用なのはとても落胆した

ちなみにそれについて教授や他の職員などに相談したが、社会人を1年経験しないとダメだと結論付けられた。なのに次の年から新卒採用なのは納得いかない

・いろいろ大変なことはあるとは思いますが、どうにかかります。頑張ってください。

・サークル活動の見直しと継続活動のしやすさの改善が必要と考えます。

・卒業式で感染した場合、丁度入社時期と被り不安です。

学部での実施となりましたが、依然数百名以上集まる事に変わりはなく、不安は解消されません。全体としての中止も視野に入れ、検討をお願いします。

・教職選択必修科目が同じ時間に被っている事がありました。

・どれが教職必修科目なのかがわかりにくいので、科目選択に無駄に時間を取られています。シラバスに教職必修科目のタグなどを付け、検索しやすくして頂けると取り逃がしも減るかと思います。

・これから就活する方へ

面接が苦手、思ったことを上手く伝えられない、緊張して忘れちゃうこれってなんでかわかりますか?じゃあ逆に面接で自信をもって話せる人、声のトーンや明るさが自然に出せる人、話してる時の会話に強弱を上手く使える人、自信がない人と、ある人何が違うかは、練習の量ただそれだけなので、自分は無理とか思わず沢山練習してみてください!

そこから会話の質を上げて見てください!

・後輩へ

・何のために4年間という貴重な時間を大学で過ごしているのかを、もう一度考えてみよう。

10年後の自分はどうなっていることが理想的なのか。

決まっていない者は、どうなりたいのかを常に探してみよう。
お金持ちになりたい、結婚したい、外国に住んでいたい、何でもいい。
見つかったら、それに近づくためにはどんなことをするのが必要か、探してみよう。
理想が明確になれば、すべきことが自然と見えてくるはず。
そして、最後にはなぜ勉強をすべきなのかが見えてくる。

- ・大学が提供しているALや留学制度など、使えるもの全て使わないと本当に勿体無い。
成長できる機会を提供しているのだから、使わない手はないです。
- ・ありません。